NIPPON Genetics Co.,Ltd.

取扱説明書

ver.201411版 研究用

ミドリグリーン Advance

Cat.No.	概　要	包装単位
NE-MG03	Midori Green "Advance" DNA Stain 【トライアルキット】	50μL
NE-MG04	Midori Green "Advance" DNA Stain	1mL

ミドリグリーンAdvanceは、エチジウムブロマイド（EtBr）に替わる安全なDNA蛍光染色試薬です。

【特長】
・EtBrに比較してより安全なアガロース電気泳動用核酸染色用試薬です。
・EtBrと検出感度は、ほぼ同等で操作も同じです。
・DNAやRNAと結合し、緑色の蛍光を発します。
・励起波長：490nm付近に強い1次ピーク、～270nmと～290nmに2次ピークがあります。
・蛍光波長：～530nmです。
・先染め、後染めどちらも可能です。

【保存期間】
・必ず遮光保存してください！
・室温で1年間保存できます。
・4℃保存も可能です。

【安全性】
ミドリグリーンAdvanceは、非発癌性です。エームス試験の結果、EtBrよりも圧倒的に低い変異原性を示しました。

【使用方法】
● 先染めの場合
① アガロースゲル溶液を任意の方法で作製してください。（オートクレーブ、電子レンジ等を使用）
② ゲルの温度が50～60℃に冷めたら、アガロースゲル100mlに対してミドリグリーンAdvance 4-6μLを添加し、混合してください。
③ ゲルをゲル作製用トレーに流し込んでください。（ゲル厚を0.5cm以下にすることが染色の成功につながります）
④ ゲルが十分に固まったことを確認してから電気泳動してください。
⑤ 泳動結果は、UVまたはLEDイルミネータで検出してください。

● 蛍光が弱い場合の改善方法
上記②の操作で、さらにNaClを終濃度0.3mMになるように添加し、混合してください。
例えば、アガロースゲル100mlに対してミドリグリーンAdvance 4-6μL、0.3M NaCl 0.1mlを添加し、混合してください。③以降の操作は上記と同操作でお願いします。

● 後染めの場合
① 電気泳動用バッファー 100mlに対してミドリグリーンAdvance 10-25μLを添加、混合し染色用溶液を作製してください。（作製した溶液は2 ～ 3回使用可能です。）
② 電気泳動後のゲルを①で作製した溶液に浸し、5～60分間ゆっくり振盪してください。（ゲル厚を0.5cm以下にすることが染色の成功につながります）
③ バックグラウンドが高い場合は、染色後に蒸留水または泳動バッファーで5-45分間振盪洗浄して脱色ください。
④ 泳動結果は、UVまたはLEDイルミネータで検出してください。

【注意】
・作製するゲル厚は、0.5cm以下にすることが染色の成功につながります。
・一般的な試薬の取扱いと同様に、取扱いは十分ご注意ください。操作時には、グローブをご着用ください。使用後は、各施設の基準に従って廃棄してください。

日本ジェネティクス株式会社 http://www.n-genetics.com

本　　社：〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル18F　Tel. 03 (3813) 0961　Fax. 03 (3813) 0962
西日本営業所：〒604-8277 京都府京都市中京区西洞院通御池下ル565番地 ラフィーネ御池3F　Tel. 075 (257) 5421　Fax. 075 (257) 5422

2014年12月現在のものです。製品は改良のため予告なく変更する場合があります。10PR1412C